

「防犯コンクール」で表彰

広島県防犯連・中国防犯連

広島県防犯連合会が主催する令和6年度の「防犯作文コンクール」において、呉市立天応学園7年古田優希菜さんの作文「人が傷つかない世界へ」が最優秀賞に選ばれました。さらに、県内の優秀作文が中国防犯連合会連絡協議会において審査され、古田優希菜さんの作文が優秀賞に選ばれました。

12月24日、呉警察署において、川崎一良呉警察署長と友井輝道呉市防犯連合会長から表彰状と記念品が伝達されました。



古田さん(中央)

新一年生に防犯ホイッスル —呉の子どもをみんなで守ろう—

今年小学校に入学する新一年生全員に防犯ホイッスルを贈りました。

子どもたちが犯罪に遭わないよう保護者や地域の大人が十分に見守り、安全に通学できるよう気をつけましょう。子どもたちには、「いかのおすし」の合い言葉を教えていただき、不審者から呉の子どもたちをみんなで守りましょう。

—いかのおすし—

- ① 知らない人に「ついていかない」
- ② 知らない人の車には「のらない」
- ③ 何かあったら「おおごえを出す」
- ④ 何かあったら「すぐ逃げる」
- ⑤ 何かあったら「すぐにしらせる」



感謝状

特殊詐欺被害を防止

呉警察署は、オレオレ詐欺など特殊詐欺被害を未然に防いだとして、呉本通四郵便局の和田繁成局長と呉吉浦郵便局の岩木拓末局長、局員の福本理恵さんに感謝状を贈りました。

昨年12月2日、呉本通四郵便局を80代女性が訪れて相談したいと声をかけてきた。和田局長が事情を聞くと女性は「通帳から全額出さないと口座が凍結される。自分のお金が犯罪に使われていると電話があった」と話したことから詐欺を疑い、説得して警察に通報した。

同3日、呉吉浦郵便局窓口を訪れた60代男性が「アップルカードで振り込みたい」と声を掛けてきた。接客した福本さんは不審に思い岩木局長に相談して2人で事情を尋ねた。男性は「賞金が当たった」と携帯電話を見せたことから、

すぐに詐欺被害を疑い交番に通報した。

1月28日、川崎一良呉警察署長からそれぞれ感謝状が贈られました。



(前列左から)和田局長 岩木局長 福本さん

犯罪情報官 速報



末尾「0110」からの 国際電話に要注意!

昨年の全国の詐欺電話の内、**約6割**が国際電話番号からです!

最近急増している手口

① 末尾「0110」の国際電話番号から・・・

「+1」「010」などから始まり、末尾「0110」で終わる国際電話番号から携帯電話や固定電話に電話が架かってきます。



② 警察官を名乗る者から・・・



警察官や検事を名乗る犯人から、

- 詐欺事件でああなたのキャッシュカードを押収した
 - あなたの銀行口座や携帯電話が犯罪に利用されているなどと言われ、さらに、資産状況や家族構成を言葉巧みに聞き出され、
 - 捜査のため、持っているお金を警察が預かる
 - 逮捕を免れるためにはお金が必要
- などと言われ、振込（インターネット・バンキング）や宅配便配送などで現金をだまし取ります。

被害に遭わないために



固定電話への国際電話番号からの着信は

「国際電話不取扱センター」(0120-210-364)

へ申込みを行えば防ぐことができます。

ご希望の方は、**お近くの警察署へお問い合わせください。**